

はなみずき

第69号
愛知県立豊田高等
特別支援学校
PTA



「感謝」



PTA会長 山本 由海

日頃はPTA活動に御協力たまわり、厚く御礼申し上げます。

卒業生と保護者の皆様、御卒業おめでとうございます。感慨深い思いでこのときを迎えられたと思います。在校生の保護者様も、進級するお子様の将来に、期待や不安の気持ちでいらっしゃるのではないのでしょうか。

3年間を振り返ると、親子共にたくさんの宝物を得られた大変貴重で幸せな時間でした。息子は多くの役割をいただく中で、様々なことを学び、成長しました。その全てが宝物になり、今後の彼を助けてくれると思います。子ども達には、三年間で得た多くの宝物を大事にしてほしいと思います。私自身も会長という大役での経験は、常に学びであり、大きな宝物になりました。大事にしていきます。

最後に、校長先生をはじめ先生方には折に触れ気にかけていただき、また、御助言いただきありがとうございます。そして、役員の皆様にはいつも助けていただき、心から感謝しています。本当にありがとうございます。

「文化祭」

「楽しい文化祭」

2年保護者 杉本 佳子

子ども達が丹精込めて育てた野菜や、バザーの品を買うのが楽しみで、文化祭を訪れました。たまたま見つけた教室で販売されていた、本格的で市販のものにも引けを取らない焼き物のお皿や、すてきなクリスマスツリーのオブジェに心を奪われ、購入しました。

また、引っ込み思案で人前に出ることが苦手だった息子が、大勢の人前で発表するダンス班で、堂々と司会を頑張る姿にはとても感動しました。この学校に入学し、日々成長している息子を、誇りに思います。



「PTA 研修会に参加して」

「成年後見人制度」

2年保護者 菊池いずみ

「お金の管理がしっかりできない」「いらないのに余分な物を買ってしまう」「一人で福祉サービスの手続きができない」そうすることで相談してもいい制度だと分かりました。弁護士の中田先生から「一度親が後見人をやってみるとよい。また、自分が元気なうちに専門の先生を後見人に付けて、子どもの特性を伝えながらソフトランニングで移行していくとよい」とお勧めのやり方を教えていただきました。とても勉強になりました。



「卒業生の体験談を聞いて」

1年保護者 西牧 実玲

卒業生が社会人になってみんなの前で話す姿は、とても素晴らしかったです。

社会人になるという漠然とした不安は少し解放されました。最後まで集中することが苦手な娘は、地道な努力と根気と継続力を習慣化させていかななくてはならない、ということを読んでくれました。目標が見える化したことに喜びを感じ、学校関係者の方々に感謝し、毎朝娘を見送りたいと思います。



< 1年生の様子 >

「三年間を振り返って」

3年保護者 大石 啓子

午前4時起床、今日も一日が始まります。娘が入学してから私の生活が一変しました。通学させるために、娘を4時45分に起こして支度をさせ、唯一の始発バスに乗せるためにバス停へ送っていくのが私の日課となりました。時には間に合わなくて、娘を車に乗せたまま豊田市駅へ90分かけて走ったこともありました。

二人の思いもあって始めたバス通学は、大変なことも多くありましたが、諦めることなく最後まで続けられて、本当によかったです。いい思い出ができました。



< 2, 3年生の様子 >

第3学年 役員挨拶 「ありがとうございました」

副会長 奥田 由美

文化祭等の行事を通して、保護者の方々と交流させていただきました。感動する体験ができたこと、子供たちの笑顔が見られたことが宝物になりました。先生方には親子共々支えていただき、感謝しています。

会計 久野 知栄

保護者の皆様と先生方に支えられ、楽しく活動することができました。子供たちは、卒業してやっとスタートラインなのかもしれません。卒業生、在校生、たくさんの方々の未来が、明るく幸せになりますように。

監査 鳥谷尾千晴

3年前、不安な中で始まった役員生活。何とか無事に終わることができそうでほっとしています。たくさんの方々の支えのおかげと感謝の気持ちで一杯です。

「会計報告」

◎部活動充実費

今年度は、夏場のドリンク、大会参加費、各部活動の必要物品に使わせていただきました。ありがとうございました。

◎バザー収益金

文化祭の食品バザーの収益金は、185,707円 でした。

余剰品の御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

子供たちの活動に生かしていきたいと思っております。

